宇治茶歴史街道

玉露・てん茶の産地の道

八幡市・京田辺市

「玉露・てん茶の産地の道」は、覆下で作る玉露やてん茶の産地と茶人ゆかりの社寺をめぐり、玉露の手もみ体験やおいしい宇治茶を味わう道です。

木津川の流れに調和する流れ橋のたもとには、てん茶畑が広がり、古き時代の趣きがあります。京田辺市には、高級な手摘み玉露の茶畑が見られます。

石清水八幡宮の社僧であった松花堂昭乗は、茶人としても有名で、ゆかりの松花堂庭園では、茶会も行われます。また、とんちで有名な一休禅師が晩年を過ごした酬恩庵（一休寺）では、秋には燃えるような紅葉を楽しむことができます。普賢寺ふれあいの駅では、地元の農産物を購入することができ、玉露の手もみ体験もできます。

あなたも、茶人ゆかりの社寺をめぐりながら、おいしいお茶を味わい、宇治茶の歴史を体感してみませんか。

宇治茶の郷づくり協議会

おすすめウォーキングコース
約 3.4km　約２時間

京阪八幡市駅
0.4km（1.4km）→ 石清水八幡宮 ①
航海記念塔 ②
0.4km
飛行神社 ③
0.2km
安居橋 ④
0.3km
泰勝寺 ⑤
0.5km
善法律寺 ⑥
0.6km
正法寺 ⑦
1.0km
松花堂庭園 ⑧

お茶・加工品販売施設　ビューポイント　トイレ　コンビニ
宇治茶歴史街道　おすすめウォーキングコース

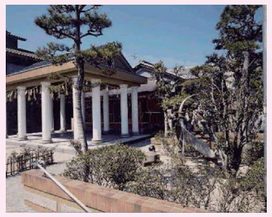
① 石清水八幡宮（いわしみずはちまんぐう）

男山山上に鎮座し、宇佐神宮（大分県）などとともに日本三大八幡宮の一つに数えられています。毎年秋に献茶審査品評会が行われ、宇治・山城の茶業家よりお茶が奉納されています。また、境内の「雄徳山茶園」では、毎年茶摘みが行われています。

② 航海記念塔

石造美術では国内最大級で、多くの謎と伝説を持つ五輪石塔は、国の重要文化財に指定されています。船乗りが航海の安全を祈願したことから「航海記念塔」と呼ばれるようになったそうです。

③ 飛行神社（ひこう）



全世界の航空殉難者の霊がまつられています。航空界の先駆者、二宮忠八が建立した我が国唯一の航空関係の神社であり、境内には金属製のプロペラやエンジンが飾られています。
◎参拝自由　8：00~17：00

④ 安居橋（あんご）（たいこ橋）

欄干に擬宝珠（ぎぼし）が12個ついた反橋で、大きく半円を描く別名「たいこ橋」。安居橋の朧月（おぼろづき）は八幡八景の一つに数えられています。

⑤ 泰勝寺（たいしょうじ）

松花堂昭乗（しょうじょう）ゆかりの寺で、昭乗の墓をはじめ、宝物館や茶席などがあります。茶席の「閑雲軒（かんうんけん）」は日本百席の一つに数えられています。
☎075-981-0056
◎拝観時間 10：00~15：00（予約要）◎拝観料　500円

⑥ 善法律寺（ぜんぽうりつじ）

石清水八幡宮の検校職、善法寺宮清が建立した善法律寺。足利義満の母良子の菩提寺でもあり、境内には寄進された紅葉の樹が数多くあることから、“紅葉寺”とも呼ばれています。
◎境内散策自由　9：00~17：00

⑦ 正法寺（しょうぼうじ）

建久2年（1191 年）に開創され、伽藍は寛永7年（1630 年）に建立されたものです。本堂、方丈、唐門、鐘楼など七堂伽藍を備えています。
◎公開日 4月~6月、9月~11月の月2回（土曜日、日曜日）
◎公開時間 10：30~15：00　◎拝観料　700 円

⑧ 松花堂庭園・美術館 草庵茶室「松花堂」

江戸時代初期、石清水八幡宮の社僧であった松花堂昭乗（しょうじょう）が建てた茶室で、松花堂庭園内にあります。「寛永の三筆」の一人にも称せられ、当時を代表する文化人であった昭乗は、書・画・茶の湯・和歌に優れた才能を発揮し、数多くの芸術作品を遺しています。 ミュージアムショップ「おみなえし」にて、地元産の抹茶や緑茶を販売しております。
☎075 -981 -0010　◎9：00~17：00（入園（館）は16：30まで）
◎休園（館）日　毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）及び12月27日~1月4日

山城地域は、お茶に関わる歴史的な史跡や行事・習慣が多く、お茶の文化が日常的に息づいている地域です。

この特性を活かし、茶園、施設、歴史、文化、人など、宇治茶に関係する資源や取組などを紹介する「宇治茶歴史街道」を設定しました。

交通案内

◎JR 西日本お客様センター
☎0570-00-2486
☎078-382-8686
http://www.jr-odekake.net/

◎近鉄旅客案内テレフォンセンター
☎06-6771-3105
http://www.kintetsu.co.jp/

◎京阪電車お客様センター
☎06-6945-4560
http://www.keihan.co.jp/

◎京阪宇治バス
☎0774-68-1836（京田辺営業所）
http://www.ujibus.co.jp/

◎京阪バス
☎075-982-7721（男山営業所）
http://www.keihanbus.jp/

お問い合せ先

◎（公社）京都府茶業会議所	☎0774-23-7713
◎京都府茶協同組合	☎0774-23-7711
◎京都府山城広域振興局	☎0774-21-3211
◎八幡市農業振興課	☎075-983-1111（代）
◎（一社）八幡市観光協会	☎075-981-1141
◎やわた観光ガイド協会	☎075-981-1141
◎京田辺市農政課	☎0774-64-1362
◎京田辺市産業振興課	☎0774-64-1319
◎京田辺市観光協会（観光案内所）	☎0774-68-2810
◎京田辺市観光ボランティアガイド協会	☎0774-68-2810

発行：宇治茶の郷づくり協議会 / 事務局：（公社）京都府茶業会議所内
宇治市宇治折居 25-2　☎0774-23-7713
（平成 26 年 4 月発行）

9 やわた流れ橋交流プラザ「四季彩館」石碑「宇治茶の郷」

地元の野菜をふんだんに使用したレストランや、ゆったりくつろげる「四季の湯」、また多目的に利用できる研修室や宿泊室もあります。売店コーナーでは地元のお茶や農産加工品を購入することができます。
☎075-983-0129　◎営業時間 10：00～21：00　◎定休日／月曜日

10 上津屋橋（流れ橋）

古き時代の趣があることから、テレビや映画の撮影によく利用されています。また、全長は356.5mあり、日本最長級の木造橋といわれています。この橋は川の水かさが増すと橋を渡る板の部分が浮き上がって流れることから「流れ橋」と呼ばれています。

11 河川敷の茶園

流れ橋を望む河川敷の茶園では、被覆棚を備えた茶園が広がっています。

12 澤井家住宅

入母屋造で茅葺屋根をL字型に組み合わせた特徴的な建物で、国の重要文化財に指定されています。曇華院所領地の代官を務めた澤井氏の住宅で、もともと武家出身の澤井氏は、近世のはじめにこの地に移りました。
☎0774-62-0146　◎文化財協力金　300円
◎公開日　第２・４土日曜日の10：00～16：00

13 月読神社

延喜式内社。祭神は、天照大神の弟、月読尊。本殿を囲む端垣の正面に鳥居を配置する珍しい構造。明治時代に再建された本殿は、本格的な大きさの春日造。毎年10月14日例祭宵宮には、「大住隼人舞」が奉納されます。

14 MAIKO茶ブティック

京田辺特産の玉露や抹茶を気軽に楽しめるカフェです。日本茶といっしょに楽しめるデザートもあります。
☎0774-68-2472
◎10：00～19：00
◎定休日：火曜日

15 棚倉孫神社

祭神に天香古山命をまつる棚倉孫神社は、敷地内に神の使いとされる牛があり、江戸時代には「天神宮」として庶民に親しまれていました。神社としての創建年代は不詳ですが、本殿脇の石造灯籠は桃山時代の作。26種類ほどの穀物や野菜で飾られる「ずいき御輿」は、秋の収穫祭で２年に1度繰り出されます。

16 酬恩庵（一休寺）

とんちで有名な一休禅師が晩年を過ごしたことから、「一休寺」の通称で知られています。元は妙勝寺といい、大応国師によって創建されました。大応国師は禅堂の茶の作法を中国よりもたらし、それを一休禅師が侘び茶の祖とされる村田珠光に教えたとされています。　☎0774-62-0193　◎拝観時間９：00～17：00　◎拝観料大人 500 円、子ども 250 円　有料

17 酒屋神社

延喜式内社。創建年月など不詳ですが、かつて神功皇后が出陣の際、神社背後の山に酒壺を３個安置して出立、帰国後その霊験に感謝して建てられたともいわれています。本殿は、一間社流造、屋根に特徴があり、千鳥破風と軒唐破風を配した神社は山城地域では珍しいものです。

18 筒城宮址（同志社大学内）

日本書紀によれば、507 年に樟葉宮で即位した継体天皇が511年から弟国宮に移る518年まで宮を置いたところです。同志社大学京田辺キャンパス内に筒城宮址碑が立っています。また、キャンパス内には、歴史資料館があり見学することができます。
◎開館時間　月～金（夏期・冬期休暇を除く）10：00～16：00
◎入館料　無料

19 観音寺

奈良時代に天武天皇の勅願により創建されました。本尊は、国宝に指定されている十一面観音立像で、天平文化の華やかさを今に伝える柔和な表情が特徴です。春には、寺周辺が菜の花と桜で彩られます。
☎0774-62-0668
◎志納料　400円
◎拝観時間９：00～17：00（予約要）

20 普賢寺ふれあいの駅

京田辺の農産物やお茶を購入することができます。また、毎月第２土曜日には玉露の手もみ体験ができます。（要予約）
☎0774-62-4250
◎8：00～15：00
◎休業日：月・金曜日

21 寿宝寺

重要文化財に指定されている十一面千手千眼観音立像は、平安時代後期の作で、実際に千の手があるのは日本で三体しかないといわれています。また、寿宝寺のある三山木地域は、古山陰道と近江へ通じる街道の分岐点にあたり、「山本駅」が設けられ、古代交通の要衝として栄えました。　☎0774-65-3422　◎拝観料 300円
◎拝観時間９：00～17：00（予約要）

22 飯岡茶園と古墳群

木津川の左岸に位置する飯岡には、茶どころ京田辺の茶園の風景が見られます。５月になると茶園が一面黒くなりますが、これは、玉露が覆下で作られるためです。また、古代豪族の墓といわれる古墳が多く点在したり、本能寺の変の際、徳川家康から1日遅れで通過し、命を落とした穴山梅雪の墓があるなど歴史ロマンも感じられます。